

チェルノブイリ原発大災害問題ロシア・ベラルーシ 情報センター ベラルーシ支局

ベラルーシ非常事態省
RSRUE「放射線学研究所」

センター長
Zoia I. Trafimchik

ロシア・ベラルーシ情報センター ベラルーシ支局

2007年10月設立

下部組織

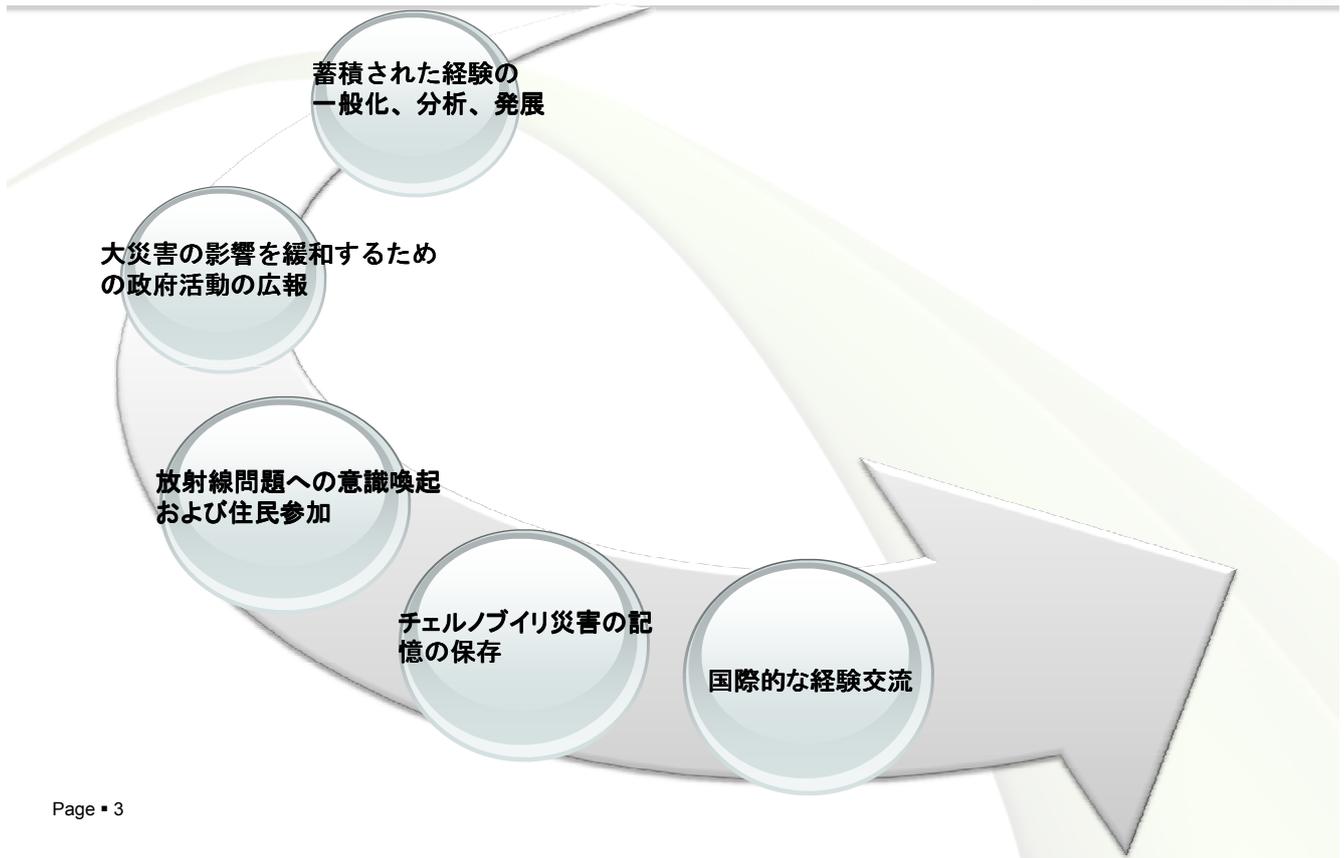


専門スタッフ
放射線学
放射線医学
コミュニケーション
経済学等...

専門スタッフ
国際協力
社会学
心理学等...

専門スタッフ
出版
デザイン
編集等...

経験の資本化〔財産化〕、および再生に向けた活用



Page • 3

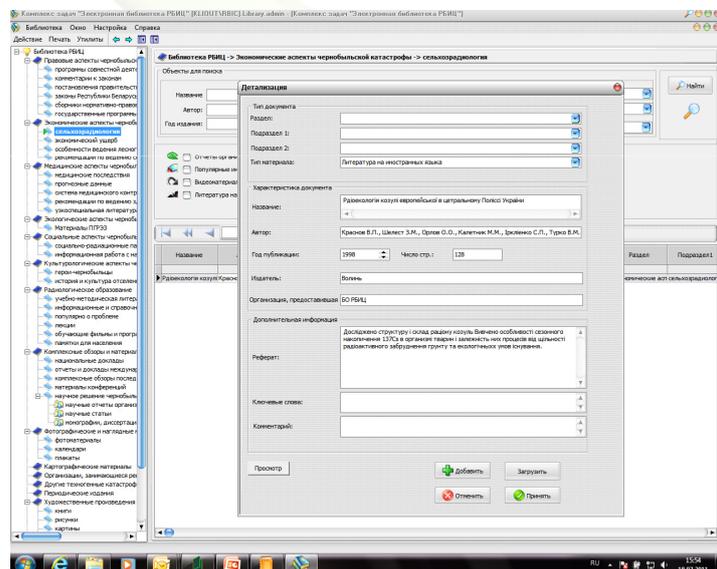
課題別の活動

情報資源の共有(現在推進中):

- ・ 地図
- ・ 法令
- ・ 科学レポート
- ・ マニュアル
- ・ 論文
- ・ 写真
- ・ ビデオ等...

情報センターの小資料室に配置の予定

情報資源に関する特別のソフトウェアを開発・試験中



Page • 4

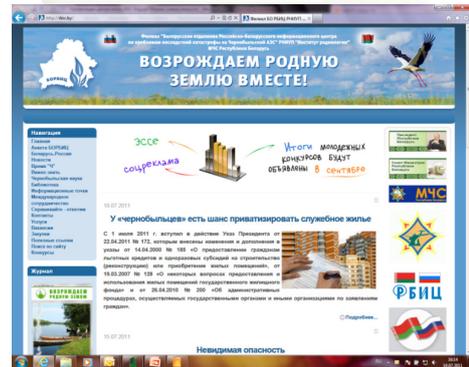
課題別の活動

地域・国家・国際レベルにおける災害影響の緩和に向けた 国家活動の広報:

- 事故後25周年ナショナルレポート
- 雑誌「ふるさと再生」特別号
- 国際博覧会

「チェルノブイリ: 過去・現在・未来」

- インターネットサイト www.rbic.by



課題別の活動

地域情報組織

- さまざまな活動の中で設置
- ロシア・ベラルーシ共同行動プログラム -19
- 国際プロジェクト



全ての汚染地域内に50箇所以上

今後の展望 -

地域情報組織のネットワーク化

課題別の活動

電子情報源



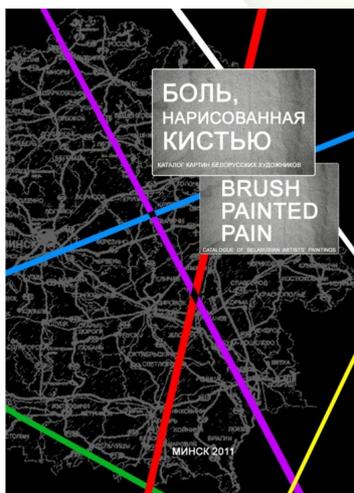
- 法令資料および調査分析資料
- 放射能汚染下の農林業
- 国民向け一般情報
- ポスター、パンフレット、ブックレット、ビデオ素材
- 書籍、教科書、マニュアル類
- 有益なインターネット検索情報

21の汚染地域に提供

課題別の活動

記憶

- 被災地域の自然・文化遺産の保全（チェルノブイリ災害後に改定された21地域のアルバム・ガイド）
- チェルノブイリ災害に関する記憶の継承（記憶をとどめるための書物や絵画等...）



現在の状況(1)

ポスト・チェルノブイリ活動－現在および将来

- ・ 110万人の人々－汚染地帯に居住
- ・ 第5次国家「チェルノブイリ」プログラム－実施中
- ・ 第4次ロシア・ベラルーシ共同「チェルノブイリ」プログラム
－準備中
- ・ 現在の優先事項－被災地域の復興
- ・ 被害の抑止および住民の保護－現在も継続
- ・ ベラルーシは原子力事故後対策に関して特別の知識と能力を
獲得してきている
- ・ 特別の対象の存在－いわゆる「閉鎖地区」を含むさまざまな
レベルの汚染地域－Polessie State Radiation-Ecological
Reserve, 立入規制地域

Page • 9

現在の状況(2)

- ・ 住民の3つのカテゴリー
 - － 災害を目の当たりにし記憶している人々
 - － 「チェルノブイリ後に育ち」、災害の結果を見ている人々
 - － チェルノブイリを歴史の一部として見ている新しい世代
- ・ キノコやベリー類の採取、あるいは釣りなどをするために立入禁止ゾーンに
立ち入ることを規制ないし制限すること
- ・ 規制措置を可視化すること(最も危険なエリアにおける規制・警告標識)
- ・ 3つの重要な出来事
 - － チェルノブイリ災害25周年
 - － 福島第一原発の事故
 - － ベラルーシでの原子力発電所建設
- ・ 「チェルノブイリの固定観念“Chernobyl stereotypes”」その存続と世代継承

Page • 10